

# TOTO

## ネオレストハイブリッドシリーズ手洗器付(ワンデーリモデル)

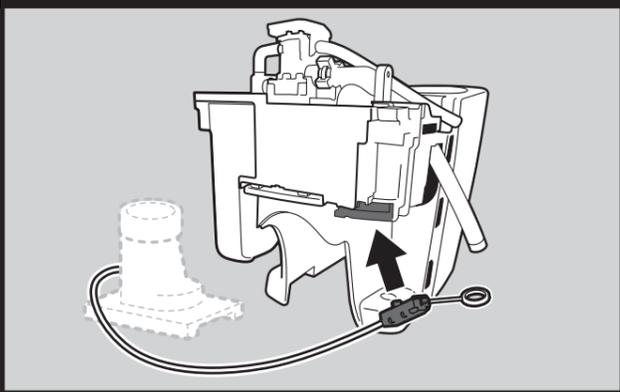
### 壁排水 カウンタータイプ

このダイジェスト版は、おおよその施工の流れをご理解いただくためのものです。  
施工にあたっては、施工説明書本編とあわせてご確認ください。  
施工説明書本編にある安全上のご注意、施工上のご注意を必ずお守りください。

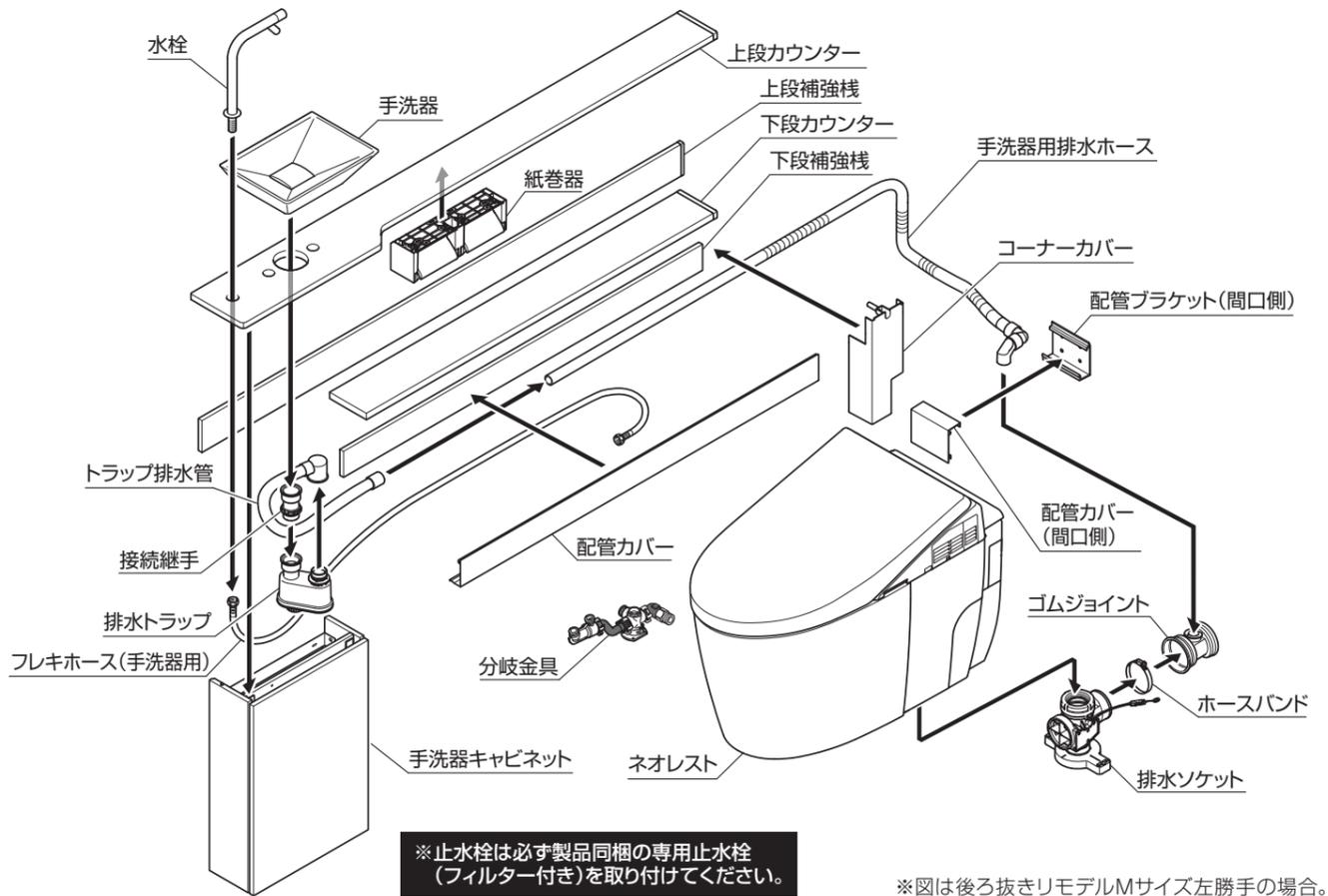
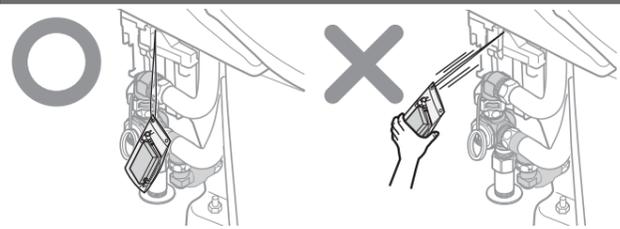
**必ず実施** 従来にはない施工が必要です。

#### 従来製品からの主な注意点

##### ① 便器取り付け前に手動レバーを取り付ける



##### ② 停電時に使用するため電池ボックスは取り外さない



※止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。

※図は後ろ抜きリモデルMサイズ左勝手の場合。

※止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。

#### ステップ1

#### 1 給水・排水部

本編 P.20▶P.27

ステップ2

ステップ3

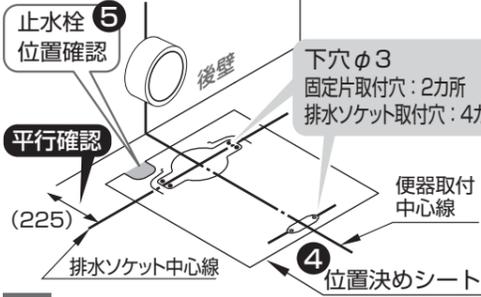
ステップ4

ステップ5

給水隠ぺいタイプ 便器品番:CS989BDP

#### 1 けがき

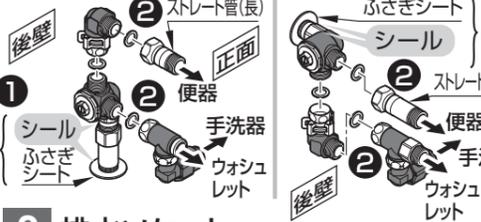
後ろ抜き(排水心高さ120mm)



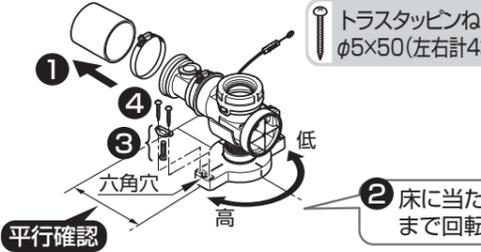
#### 2 止水栓・分岐金具

床給水

壁給水



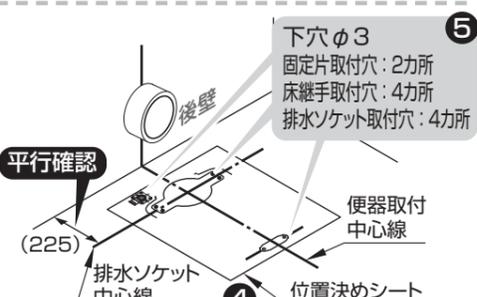
#### 3 排水ソケット



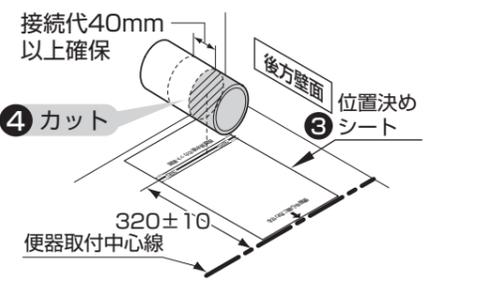
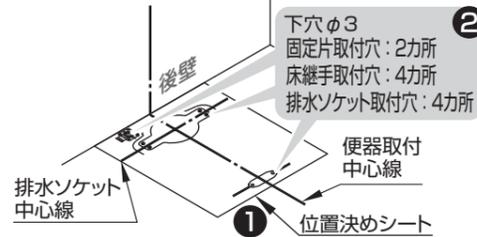
給水露出タイプ 便器品番:CS989BDX

#### 1 けがき

後ろ抜きリモデル(排水心高さ120~155mm)

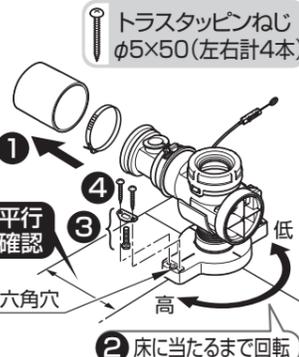


左右抜きリモデル(排水心高さ100~155mm)



#### 2 排水ソケット・床継手

後ろ抜きリモデルのみ



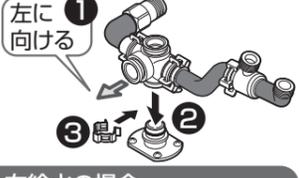
後ろ抜き・左右抜きリモデル共通



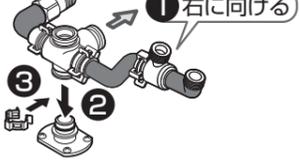
#### 3 分岐金具

※インシュロックは切らないでください。

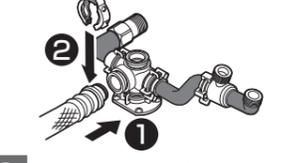
左給水の場合



右給水の場合

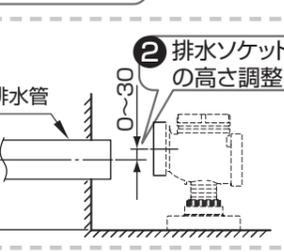
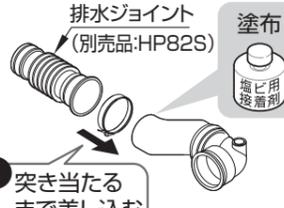


#### 4 給水ホース

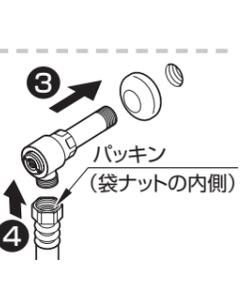
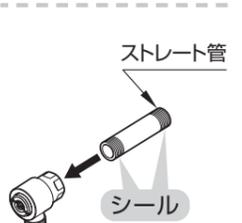


#### 6 排水ソケット

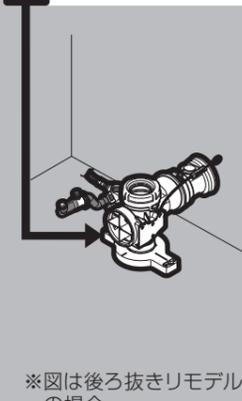
左右抜きリモデルのみ



#### 5 止水栓の取り替え



#### 1 給水・排水部

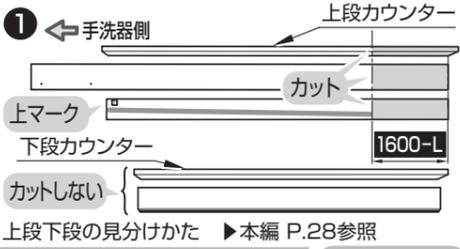


※図は後ろ抜きリモデルの場合。

Sサイズ

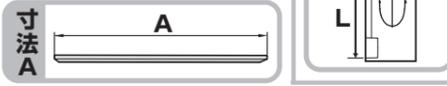
1 カウンター類の加工

カウンターをカットする場合



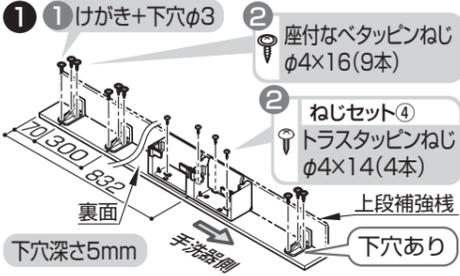
上段下段の見分けかた ▶本編 P.28参照

2 上段カウンターの部材

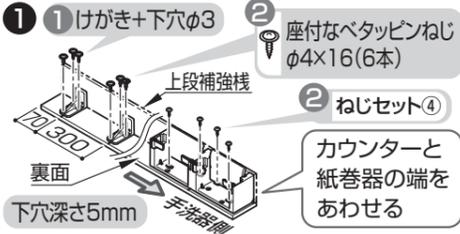


樹脂製紙巻器の場合

[A寸法が1100mm以上の場合] ※ブラケットは3カ所

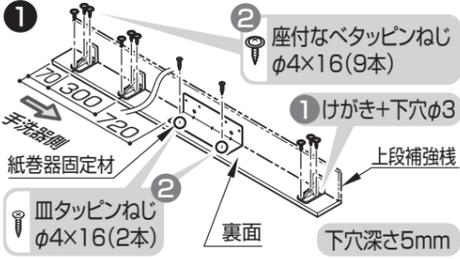


[A寸法が1100mmより小さい場合] ※ブラケットは2カ所

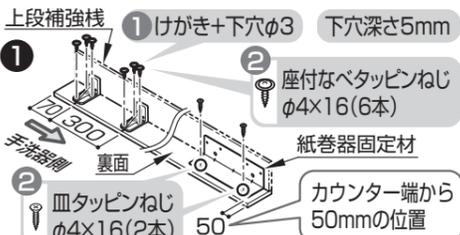


メタル製紙巻器の場合

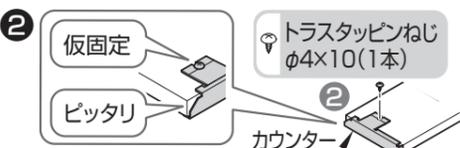
[A寸法が1100mm以上の場合] ※ブラケットは3カ所



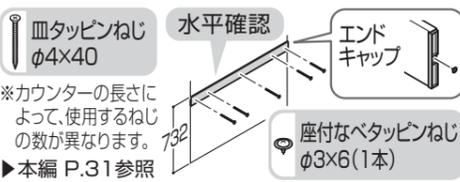
[A寸法が1100mmより小さい場合] ※ブラケットは2カ所



紙巻器共通



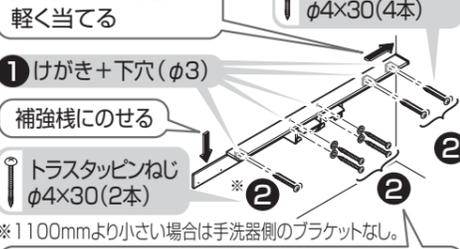
3 上段補強材



※カウンターの長さによって、使用するねじの数が異なります。▶本編 P.31参照

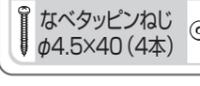
4 上段カウンター

天板または固定扉に軽く当てる

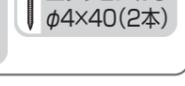


※1100mmより小さい場合は手洗器側のブラケットなし。

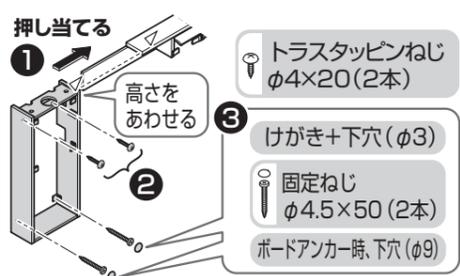
【樹脂紙巻器の場合】



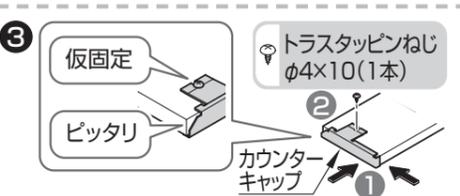
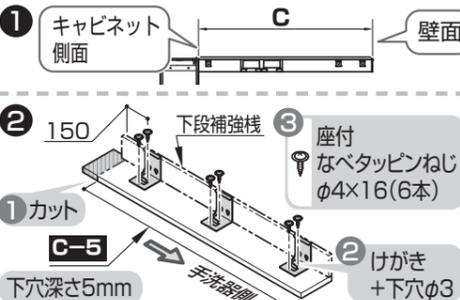
【メタル紙巻器の場合】



5 手洗器キャビネット



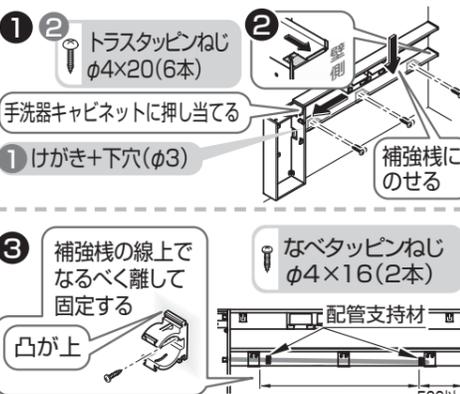
6 下段カウンターの部材



7 下段補強材



8 下段カウンター



2-S Sサイズの場合

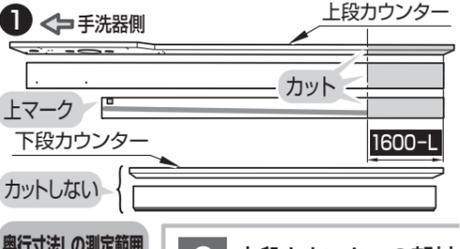


※図は左勝手の場合。

Mサイズ

1 カウンター類の加工

カウンターをカットする場合



上段下段の見分けかた ▶本編 P.28参照

2 上段カウンターの部材

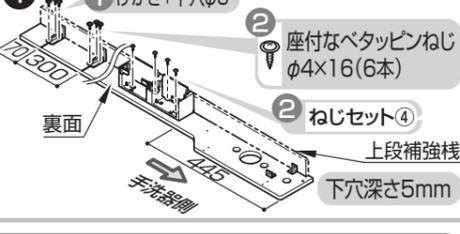


樹脂製紙巻器の場合

[A寸法が1550mm以上の場合] ※ブラケットは3カ所

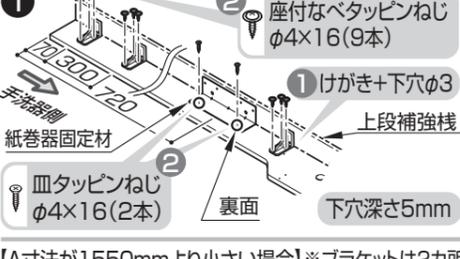


[A寸法が1550mmより小さい場合] ※ブラケットは2カ所

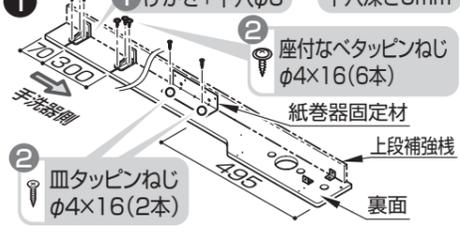


メタル製紙巻器の場合

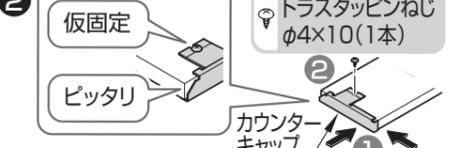
[A寸法が1550mm以上の場合] ※ブラケットは3カ所



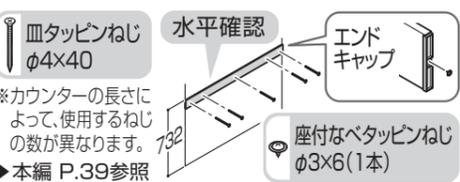
[A寸法が1550mmより小さい場合] ※ブラケットは2カ所



紙巻器共通



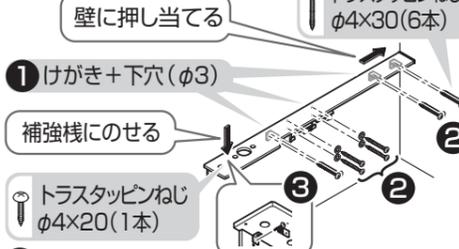
3 上段補強材



※カウンターの長さによって、使用するねじの数が異なります。▶本編 P.39参照

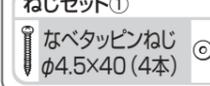
4 上段カウンター

壁に押し当てる

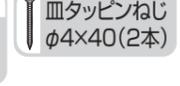


※1100mmより小さい場合は手洗器側のブラケットなし。

【樹脂紙巻器の場合】

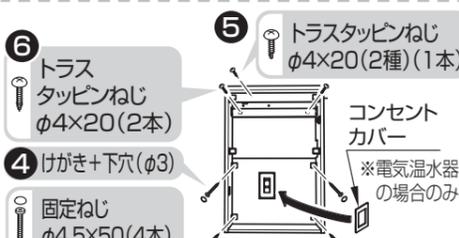
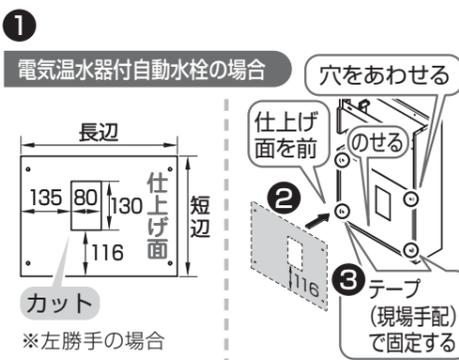


【メタル紙巻器の場合】

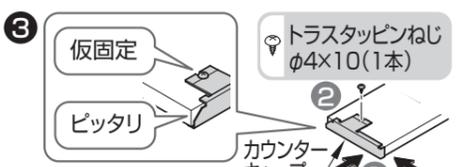
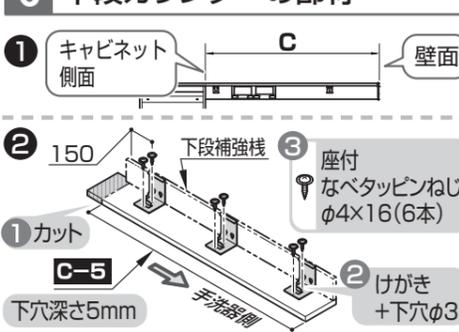


5 手洗器キャビネットの加工・取り付け

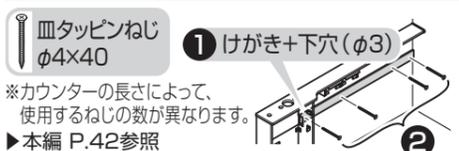
電気温水器付自動水栓の場合



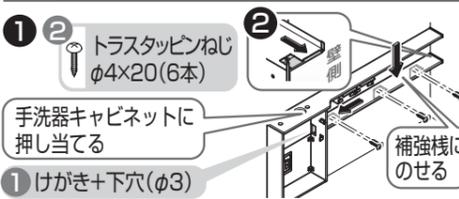
6 下段カウンターの部材



7 下段補強材

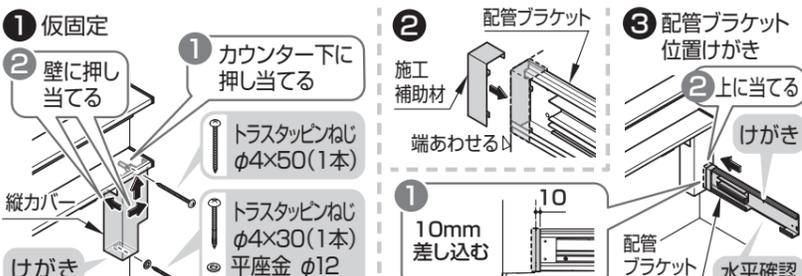


8 下段カウンター



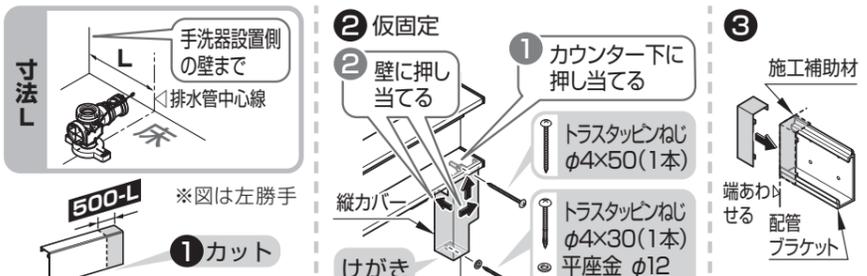
給水隠ぺいタイプ 便器品番:CS989BDP

1 配管ブラケット



給水露出タイプ 便器品番:CS989BDX

1 配管ブラケット



※図は左勝手の場合。



2-M Mサイズの場合



※図は左勝手の場合。

給水隠ぺいタイプ 便器品番:CS989BDP

**4 配管ブラケットの固定**

1 縦力バーを取り外す

2 施工補助材を取り外す

3 水平確認

トラスタッピンねじ  $\phi 4 \times 40$  (5本)

**2 手洗器用排水ホース**

配管固定材の取り付け

1 上段カウンター

2 下段カウンター

90

35

けがき

皿タッピンねじ  $\phi 4 \times 40$

寸法 L

手洗器設置側の壁まで

排水管中心線

寸法 C

1 カット

C-115 L+45

手洗器用排水ホース

マークつける

塗布

2 接続

3 マーク

1 マークをあわせる

2 接続

3 マーク

3 フレキホース(手洗器用)

左勝手

排水ホースの後ろを通す

壁に沿わせて設置

トラスタッピンねじ  $\phi 4 \times 40$

ソケット中心線

175

フレキホース(手洗器用)をとおしておく

右勝手

壁にすき間なく沿わせて設置

支持アングルの内側で取り回す

支持アングル下端

70

150

必ずゴムジョイントの下を通す

フレキホース(手洗器用)をとおしておく

**3 手洗給水・排水部**

※図は後ろ抜きモデル Mサイズ左勝手の場合。

1 排水金具

三角パッキン 向きに注意

1

2

手洗器

シリコン系シール剤

2 手洗器

型紙

225 (固定位置)

カウンター上で折り曲げる

1

トラスタッピンねじ  $\phi 4 \times 30$  (2本)

※図は自動水栓の場合

※図は左勝手

3 固定金具に差し込む

2 クッション材を取り付け

4

トラスねじ M5×54 (2本)

3 下穴あけ

自動水栓の場合

※図は左勝手

120

35

26

30

270

下穴 $\phi 3$  (2カ所)

コントローラー固定材 取り付け位置

4 配管固定材

皿タッピンねじ  $\phi 4 \times 16$  (1本)

5 フレキホース(手洗器用)

ハンドル式水栓

1

2

パッキン

トラスタッピンねじ  $\phi 4 \times 30$

自動水栓

1

下穴あわせ

トラスタッピンねじ  $\phi 4 \times 30$  (3本)

自動水栓の場合 (つづき)

※図は自動水栓の場合

座付タッピンねじ  $\phi 4.5 \times 38$  (2本)

2

適切な長さにカット

ホースクラシブ

3

4

パッキン

5

壁に沿わせて設置されているか確認

給水ホースの固定

6

コネクター(赤)

コネクター(緑)

※電気温水器付の場合不要

電源コード(自動水栓)

7

6 排水トラップ

7 配管固定材にトラップ排水管を通す ※固定はしない

8

塗布

10

トラップ排水管を配管固定材に固定

9 はめ込む

4-S 手洗器Sサイズ

※図は左勝手の場合。

1 排水金具・固定金具

三角パッキン 向きに注意

1

2

3

手洗器

シリコン系シール剤

2 手洗器

1

クッション材を取り付け

2

3

押し当てる

3 水栓金具

ハンドル式水栓

壁と平行

ゴムパッキン

菊座金

自動水栓

壁と平行

ゴムパッキン

4 下穴あけ

【けがき位置】

ハンドル式水栓: 1カ所

自動水栓: 6カ所

電気温水器付自動水栓: 10カ所

けがき+下穴( $\phi 3$ )

型紙

5 配管固定材

皿タッピンねじ  $\phi 4 \times 40$  (1本)

配管固定材を固定する

6 フレキホース(手洗器用)

ハンドル式水栓

1

パッキン

給水ホースの固定

自動水栓・電気温水器付自動水栓

トラスタッピンねじ  $\phi 4 \times 30$  (3本)

1

下穴あわせ

4-M 手洗器Mサイズ

適切な長さにカット

座付タッピンねじ  $\phi 4.5 \times 38$  (2本)

2

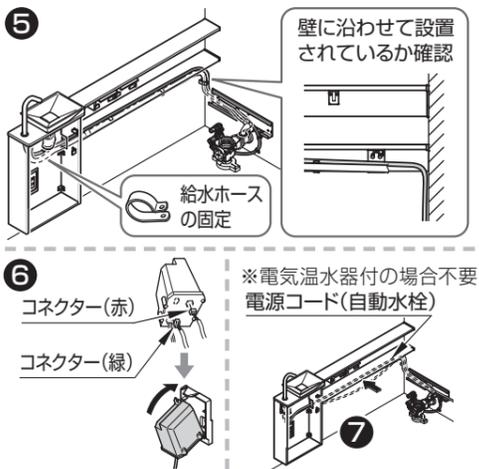
3

4

パッキン

ホースクラシブ

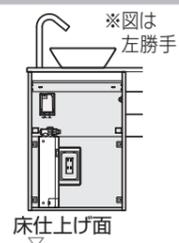
6 フレキホース(手洗器用)(つづき)



電気温水器付自動水栓

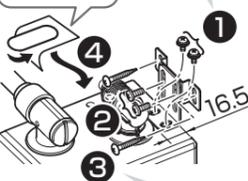
▶電気温水器施工説明書

電気温水器設置位置



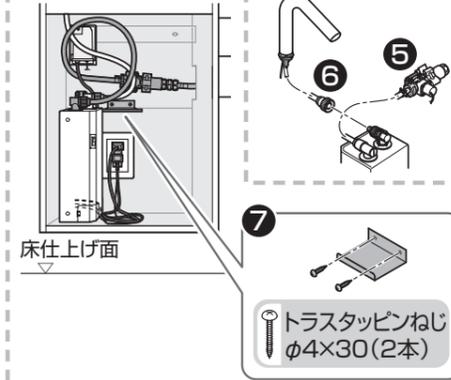
固定アングル用  
座付なべ小ねじM4×10(2本)

穴をふさぐ

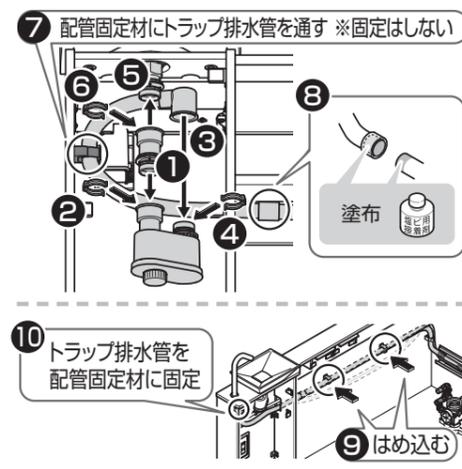


2 固定用ねじ  
M4×5(2本)

壁固定用木ねじ  
φ4×30(2本)



7 排水トラップ



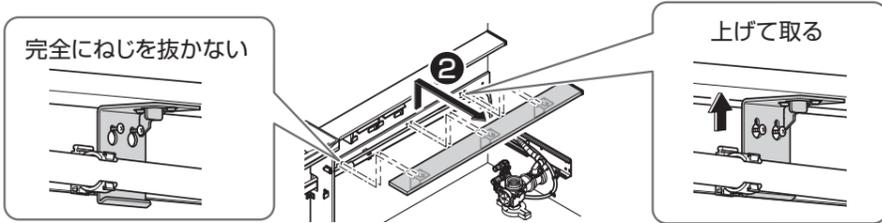
5 下段カウンター(取り外し)

1 下段カウンターの取り外し

左勝手の場合のみ

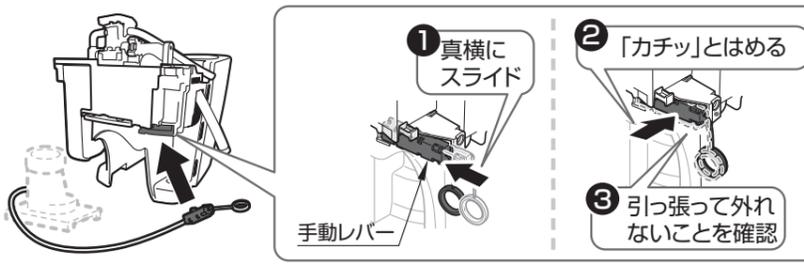
1 ねじをゆるめる

完全にねじを抜かない



6 器具類

1 手動レバー

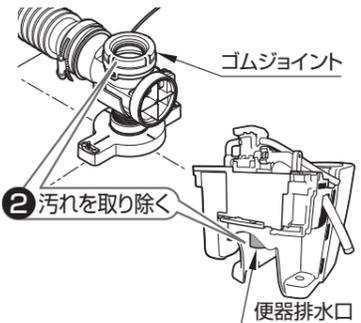


1 大便器固定の準備

後ろ抜きの場合



後ろ抜きリモデル・左右抜きリモデルの場合

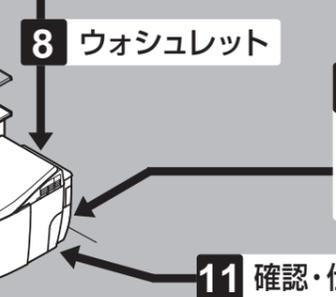


2 大便器



1 ウォシュレットの設置

※図はMサイズ  
左勝手の場合。



11 確認・仕上げ

9 下段カウンター(取り付け)

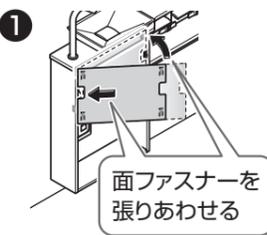
1 下段カウンターの取り付け

左勝手の場合のみ

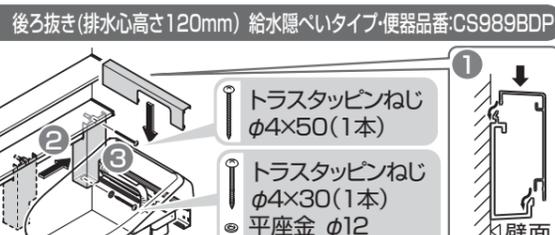
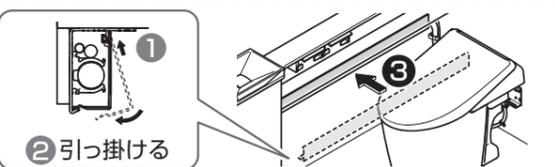
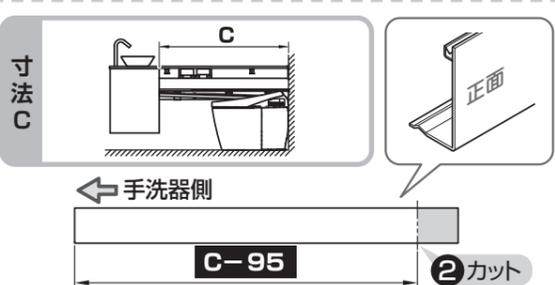


1 カバー類

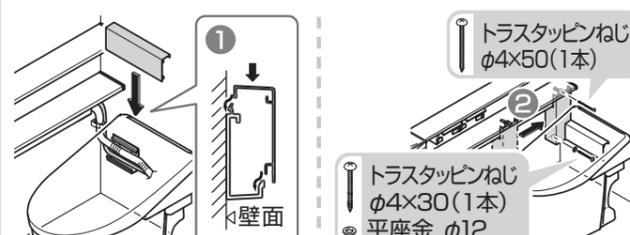
手洗器Mサイズ



手洗器Sサイズ



後ろ抜きリモデル・左右抜きリモデル 給水露出タイプ・便器品番:CS989BDX

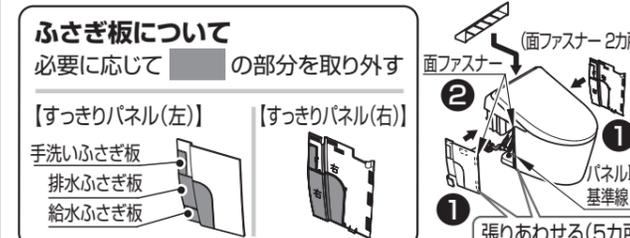


2 すっきりパネル

後ろ抜き(排水心高さ120mm) 給水隠ぺいタイプ・便器品番:CS989BDP



後ろ抜きリモデル・左右抜きリモデル 給水露出タイプ・便器品番:CS989BDX



3 シリコン系シーラント

手洗器 Mサイズ



大便器



お引き渡し前に、必ず点検してください。